

テーマ１ 誰もが希望を持ち、いきいきと暮らし、多様な役割を担う「村山」の実現

【重点的に取り組む課題】

村山地域では、価値観の多様化による結婚や子育てへの意識が変化する中、若者の県外流出とともに高齢者の増加が続いており、多様な人材の定着と活躍が求められている。

これらに対応するため、結婚支援や子育て環境の整備を推進し、地域内での居場所づくりを充実させる必要があるほか、若者と外国人材の定着・回帰促進を図り、保健・医療・福祉が連携した包括的な支援体制を充実強化することで、働き暮らしやすい地域づくりを進めていく。

<具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）>

（１） 結婚・出産・子育てを地域全体で支援する環境の整備（施策１）

K P I	現状値	指標値（工程）				
		R 7	R 8	R 9	R10	R11
① 「多様な産後ケア事業」３種*全てに取り組む市町数（累計）	7市町 (R6年度)	8市町	10市町	12市町	13市町	全市町
② こども食堂などこどもの居場所実施箇所数（累計）	48箇所 (R6年度)	50箇所	51箇所	52箇所	53箇所	54箇所

【K P I の出典】①県村山総合支庁調べ

②県こどもの居場所づくりサポートセンター調べ

（主な取組内容）

- 若い世代が結婚・出産・子育てに前向きな将来像を持つ契機となる機会の提供・確保
- 村山ならではの食文化や自然等の地域資源を活用した多彩な出会いの場の創出など、地域における結婚支援に向けた取組みの強化
- 市町を中心に医療機関やN P O等と連携した、産後ケア事業・妊産婦のメンタルヘルス対策など、子育てに対する不安や負担感を軽減するための支援の充実
- 「こどもの居場所づくり」への支援など、多様な主体が子どもたちの健やかな成長を支える体制づくりの推進

*【「多様な産後ケア事業」３種】短期入所（ショートステイ）型、通所（デイサービス）型、居宅訪問（アウトリーチ）型。

（２） 村山を創る人材の育成と働き暮らしやすい地域づくり（施策２）

K P I	現状値	指標値（工程）				
		R 7	R 8	R 9	R10	R11
① 若者の定着促進に関する企業情報などの情報発信サイト閲覧数	68,432件 (R5年度)	70,000件	70,700件	71,400件	72,100件	72,800件
② 大学等と連携した新たな地域づくりの取組数（累計）	5件 (R6年度)	7件	9件	11件	13件	15件

【K P I の出典】①、②県村山総合支庁調べ

(主な取組内容)

- 産学官民の連携による、若者や外国人をはじめ多様な人材が惹きつけられ、定着し活躍できる環境づくり
- 地域おこし協力隊をはじめとした新たな活力を創出する人材との協働による村山地域で働き暮らすことの魅力の発信を通じた若者の定着・回帰の促進
- 山形大学や東北芸術工科大学等の高等教育機関や事業者と地域住民との連携等による地域を支える新たな活動の創出支援

(3) 地域の暮らしを支える保健・医療・福祉サービスのさらなる充実と連携の強化（施策3）

K P I	現状値	指標値（工程）				
		R 7	R 8	R 9	R10	R11
① 村山地域医療情報ネットワーク（べにばなネット）アクセス数	33,047件 (R5年度)	34,000件	35,000件	36,000件	37,000件	38,000件
② ひきこもり等の当事者及び家族に対し保健所と連携・協働での支援を行った市町数（累計）	13市町のうち4市町 (R6年度)	6市町	8市町	10市町	12市町	13市町

【K P I の出典】①、②県村山総合支庁調べ

(主な取組内容)

- 医療や介護等の職種連携の強化等による包括的支援体制の充実強化
- 健康の維持・増進に欠かせない「食」等の生活習慣の改善に向けた、地域や職場における健康的な食生活の普及・実践等への支援強化による県民の主体的な健康づくりの促進
- ひきこもり等の困難を抱える方や家族等に関わる多様な課題への対応に向けた、地域における多機関連携による包括的な相談支援体制の強化
- 新興感染症やAMR（薬剤耐性）の発生に備えた平時からの地域ネットワーク体制の強化

テーマ2 「村山」の強みを活かし、交流や連携を基盤に持続的に発展する産業の形成

【重点的に取り組む課題】

村山地域には、多様で豊かな農産物、大学や研究機関の集積、充実した観光資源、仙台圏に隣接する立地条件、都市部と農村部の共存という強みがあり、これらを活かした持続的な産業発展が求められる。

そのために、付加価値を高めるためのD X推進、企業間連携、新たな販路開拓などが必要である。また、観光客の拡大に向けてニーズの多様化に対応し、気候変動への対策及び担い手確保など経営安定化の支援により、経営基盤の強化を推進していく。

<具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）>

（１） 関係機関と企業との連携によるイノベーションの促進（施策１）

KPI	現状値	指標値（工程）				
企業の生産性向上や連携促進のために開催する交流会等の参加人数	72人 (R5年度)	R7	R8	R9	R10	R11
		82人	94人	108人	124人	142人

【KPIの出典】県村山総合支庁調べ

（主な取組内容）

- 「村山インダストリー倶楽部」を中心とした地域の企業同士の交流支援や研修会の開催など、企業の生産性向上のための取組みの推進
- 企業グループの構築とその活動支援を通じた企業間連携の促進
- 域内外の企業交流を通じた新たなチャレンジへの環境づくり

（２） 村山に賑わいをもたらす地域資源を活かした交流の拡大（施策２）

KPI	現状値	指標値（工程）				
① 観光者数	18,331千人 (R5年度)	R7	R8	R9	R10	R11
		19,500千人	20,200千人	20,900千人	21,600千人	22,300千人
② 外国人旅行者受入数	252,670人 (R5年)	342,000人	387,000人	432,000人	477,000人	522,000人
③ 農産加工販売額	47,161万円 (R5年)	47,600万円	48,000万円	48,500万円	49,000万円	49,500万円

【KPIの出典】①山形県観光者数調査（県観光文化スポーツ部）

②外国人旅行者県内受入実績調査（県観光文化スポーツ部）

③農業者による企業活動実態調査（県村山総合支庁）

（主な取組内容）

- 「山寺と紅花」や蔵王・月山、さくらんぼ等のフルーツ、そば・山菜を使った「食」など、村山地域ならではの魅力発信による仙台圏や北関東圏からの誘客など域内外の交流拡大
- 日本酒・ワインツーリズムやスポーツツーリズムなど、多様な観光ニーズに対応した観光コンテンツの磨き上げ・掘り起しや地域間連携による周遊の促進
- 受入れ態勢の強化や体験型コンテンツ造成、仙台空港におけるプロモーション、デジタルの活用等によるインバウンド誘客の強化
- 村山伝統野菜などの地域特産物の収穫体験や郷土料理の伝承活動等による「食」を通じた交流の促進
- 村山地域の「農」と「食」に関する多様な主体の連携による商品力・販売力の向上を目指す6次産業化の推進

(3) 安定した生産基盤の整備による地域生産物の高付加価値化（施策3）

K P I	現状値	指標値（工程）				
		R 7	R 8	R 9	R10	R11
① 新規就農者数	173人 (R6年度)	180人	190人	190人	190人	190人
② さくらんぼの秀品率	67% (R5年)	70%	70%	70%	70%	70%
③ 鳥獣による農作物被害金額	317百万円 (R5年度)	301 百万円	294 百万円	287 百万円	280 百万円	274 百万円

【K P I の出典】①新規就農者動向調査（県農林水産部）

②県農林水産部調べ

③県村山総合支庁調べ

（主な取組内容）

- 新規就農者の確保・育成や円滑な経営継承、担い手の経営発展の支援充実、市町の地域計画に基づく担い手への農地集積・集約化の促進
- 気候変動に対応した米の高品質安定生産や高温に負けないさくらんぼ産地づくりの推進及び省力・低コスト生産技術の支援
- 「果樹王国やまがた」の要を担う産地の維持・発展に向けた果樹団地整備の推進
- 市町が取り組む鳥獣被害防止対策への支援による農作物被害の軽減及び営農意欲の維持
- 高収益作物や I C T 技術等の導入促進による農業を支える基盤の強化と農村の振興
- 畜産業の経営安定化に向けた自給飼料の生産・利用拡大の推進

(4) 森林など豊かな自然を活かした地域の活性化（施策4）

K P I	現状値	指標値（工程）				
		R 7	R 8	R 9	R10	R11
① 西山杉素材生産量	44,071m ³ (R5年度)	46,000 m ³	47,000 m ³	48,000 m ³	50,000 m ³	52,000 m ³
② 再生可能エネルギー導入及び地球温暖化防止対策の普及啓発に係る研修会等の参加人数（累計）	613人 (R6年度)	720 人	820 人	920 人	1,020 人	1,120 人

【K P I の出典】①、②県村山総合支庁調べ

（主な取組内容）

- 西村山地域の「西山杉」に代表される地域材を活かした「やまがた森林ノミクス」の展開
- 計画的な森林の管理や高性能林業機械導入の推進及び林工連携等による新たな製品開発や木造化・木質化の促進
- 山菜・きのこを活かした地域活性化に向けた高品質生産体制の構築
- 先進事例等を学ぶ研修会の開催等による、環境にやさしく、災害にも強い再生可能エネルギーの導入や地球温暖化防止に向けた取組みの推進

テーマ3 安全・安心な生活や、交流・発展を支える基盤の形成

【重点的に取り組む課題】

村山地域では、高速道路網の整備が進展している中で、それを有効に活用した地域経済の拡大や交流促進が重要である。また、頻発・激甚化する自然災害に対する地域連携による適切な対応が必要となっている。

村山総合支庁と市町が協力して、地域課題である地域公共交通のネットワーク構築と関係人口の促進、地域防災力の強化等に取り組み、安全・安心な生活基盤の形成と地域の持続的発展を進めていく。

<具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）>

（１） 社会基盤を活かした隣県等とのさらなる交流・連携の取組みの強化（施策１）

K P I	現状値	指標値（工程）				
		R 7	R 8	R 9	R10	R11
① 宮城・山形両県間の高速バス輸送人員	1,482千人 (R4年度)	1,748千人	1,836千人	1,924千人	2,012千人	2,100千人
② 村山地域と仙台圏の交流・連携に向けた取組件数	4件 (R6年度)	7件	10件	13件	16件	19件

【K P I の出典】①国土交通省東北運輸局調べ「図で見る東北の運輸」掲載

②県村山総合支庁調べ

（主な取組内容）

- 多様な人材が活躍できる地域の実現に向けた、村山管内14市町と隣県等の姉妹・友好都市等との間における災害時相互対応や人的・物的交流の強化
- 広域仙台都市圏等の子育て世帯を対象とした新たな交流層の開拓など、関係人口の拡大に向けた取組みの推進
- 村山地域の企業の取引拡大等を見据えた県外企業との交流促進
- 高速道路などの高規格道路や物流拠点・観光地等に接続するアクセス道路等の整備推進

（２） 安全・安心な地域づくりの推進（施策２）

K P I	現状値	指標値（工程）				
		R 7	R 8	R 9	R10	R11
① 自主防災組織の組織率	91.1% (R6年度)	92%	93%	94%	94.5%	95%
② 土砂災害の危険性がある区域内の施設整備による保全人口の割合	48.6% (R6年度)	49%	50%	51%	52%	53%

【K P I の出典】①県防災くらし安心部調べ

②県村山総合支庁調べ

（主な取組内容）

- 防災意識のさらなる向上と自主防災組織の活動の活性化及び安全で良好な避難生活の確保

- 頻発・激甚化する自然災害への対応に必要となる建設業の若手担い手の確保や技術力の向上及び建設DXの推進
- 防災・減災に向けた河川や砂防、道路施設など社会基盤の機能の強化及び災害発生時の迅速な対応
- 社会基盤の長寿命化計画に基づく予防保全的な維持管理による長寿命化の推進及びドローンやAIを活用した状況把握など効率的な維持管理による安全・安心の推進

(3) 持続可能な地域社会の形成に向けた重層的な市町支援による地域課題の解決（施策3）

K P I	現状値	指標値（工程）				
村山地域14市町との連携課題に関する研究会の参加者数	126人 (R5年度)	R 7	R 8	R 9	R10	R11
		200人	200人	200人	200人	200人

【K P I の出典】県村山総合支庁調べ

(主な取組内容)

- 山形連携中枢都市圏を形成している村山地域全体の総合力を発揮するための管内14市町との連携・協働の推進
- 連携中枢都市圏を形成する上で基盤となる「地域の足」や「観光の足」の確保に向けた、重層的な地域公共交通ネットワークの充実と自動運転やライドシェアなど新しいモビリティサービスの導入促進
- 西村山地域における地域公共交通対策や管内高等学校卒業生の地元定着・回帰への施策など、管内市町との連携した取組みの推進
- 北村山地域の実情を踏まえた雪対策や仙台圏と隣接する立地を活かした交流等の促進、若者定着の施策など、管内市町との連携した取組みの推進